

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	農薬登録保留基準等設定費		担当部局庁	水・大気環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	土壌環境課農薬環境管理室			農薬環境管理室長 西嶋英樹	
会計区分	一般会計		施策名	3-5 ダイオキシン類・農薬対策				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	農薬取締法(第2条、第3条(農薬の登録))		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	農薬は、農薬取締法に基づく登録を受けなければ製造、販売、使用してはならないこととされており、登録に当たっての審査項目のうち、水産動植物や水質への影響等については、環境大臣が基準(農薬登録保留基準)を定めることとされている。本事業は、当該基準を定めるための農薬の安全性評価を行うとともに、当該基準の実効性を検証するための環境中での農薬の残留実態について調査を行うものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	農薬登録保留基準のうち個別農薬ごとに基準値を定める水産動植物や水質への影響に関する文献調査を行うとともに、農薬登録申請者から提出された毒性試験成績の分析・評価を行う。 また、農薬登録保留基準の実効性の検証のため農薬の環境での残留実態について、経路、散布方法及び剤型別に調査。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	141	117	109	104	109	
		補正予算	0	0	0	-		
		繰越し等	0	0	0	-		
	計	141	117	109	104	109		
	執行額	133	108	97				
執行率(%)	94.3%	92.3%	89.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定		成果実績	103	135	196	336 (27年度)	
			達成度	%	39.3%	51.4%	61.1%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	水産動植物登録保留基準設定に係る文献調査実施農薬数		活動実績 (当初見込み)	49	32 (25)	27 (25)	- (25)	
単当たりコスト	水産動植物登録保留基準設定に係る文献調査実施農薬数 (296,944円/農薬)		算出根拠	平成21年~23年度調査費用合計(32,070,000円)により算出/ 平成21~23年度調査実施農薬数合計(108農薬)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	50	60	環境保全調査費は、順次、基準値を設定した農薬について、リスク管理措置の必要性を検討するため、モニタリングの必要性の高まるなか、その実効確保及び経費増大抑制に資する一斉分析法の開発を行うため増額した。 これに併せて、環境保全調査等委託費や環境保全調査費に含まれるその他業務については、執行状況を精査し、最低限の要求額としたため減額した。				
	環境保全調査等委託費	54	49					
計	104	109						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算 の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	環境に係る農業登録保留基準は環境大臣が定めることとされており、基準値を速やかに設定するための調査及びその実効性の確認を国が行うことは妥当である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	入札は全て競争入札で行われており、総合評価落札方式のものについても、農業登録保留基準を設定する上で専門的な知識が必要な業務である。 また本費用は継続的なものであり、年次ごとにコストの削減の可能性について検討し、可能な範囲でコスト削減に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	調査の結果を基に農業登録保留基準の設定を進めており、成果目標を着実に達成している。 農業登録保留基準が設定されたものについて、その実効性の検証結果は、環境中における農業のリスク管理に活用している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、農業取締法の施行に当たり、個別農業ごとに基準値を定める農業登録保留基準の適切な設定のほか、設定済みの農業登録保留基準について、その実効性を担保するために不可欠。今後も引き続き、農業登録保留基準の設定の加速化や基準値設定農業の残留実態調査の精度の向上を図ることが必要。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>執行実績を踏まえて、事業内容の効率化を図り、概算要求額の縮減に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>基準値設定済農業が増加し、モニタリングの必要性の高まるなか、その実行確保及び経費増大抑制に資する一斉分析法の開発を行う。 これに併せて、モニタリングやその他業務については、執行状況を精査し、最低限の要求額とした。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー	092	平成23年行政事業レビュー	083

環境省  
97百万円  
〔各事業実施事業者との契約  
事業の進行管理及び全体統括〕

事業概要

- ・毒性試験成績のデータベース化
- ・水産動植物農薬登録保留基準設定に係る文献収集、基準運用・高度化の検討
- ・非食用農薬の安全性評価資料原案の作成
- ・農薬による水生生物影響の実態把握調査
- ・農薬使用基準遵守状況等の調査
- ・水質、土壌等の残留農薬調査、ドリフト調査

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

【一般競争入札】

A. (株)アシストマイクロ  
1百万円

〔毒性試験成績のデータベース化  
【総合評価入札】〕

B. (独)国立環境研究所  
9百万円

〔水産動植物登録保留基準設定に係る文献収集〕

【一般競争入札】

C. (株)ボゾリサーチセンター  
2百万円

〔非食用農薬の安全性評価資料原案の作成〕

【総合評価入札】

D. (株)エスコ  
10百万円

〔河川における魚体中農薬モニタリング調査〕

【総合評価入札】

E. (独)国立環境研究所  
16百万円

〔農薬による水生生物への影響実態調査〕

【一般競争入札】

F. (株)サンコー環境調査センター  
3百万円

〔ゴルフ場排水中の農薬分析〕

【一般競争入札】

G. (独)農業環境技術研究所  
5百万円

〔農薬飛散動態調査〕

【一般競争入札】

H. (財)残留農薬研究所  
2百万円

〔地方自治体担当者に対する分析研修実施〕

【一般競争入札】

I. いであ(株)  
49百万円

〔水質・土壌等農薬残留調査のとりまとめ〕

【再委任】

J. 地方自治体  
39百万円

〔水質・土壌等農薬残留調査等〕

A.(株)アシストマイクロ			F.(株)サンコー環境調査センター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	1		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	3
計		1	計		3
B.(独)国立環境研究所			G.(独)農業環境技術研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	9		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	5
計		9	計		5
C.(株)ボゾリサーチセンター			H.(財)残留農薬研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	2	人件費	残留農薬分析研修指導、契約事務等	1.7
			その他	一般管理費等	0.3
計		2	計		2
D.(株)エスコ			I. いであ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	10	再委託	地方自治体への再委託	39
			人件費	人件費	7
			その他	検討会開催費(会場借料、委員旅費、委員謝金等)	3
計		10	計		49
E.(独)国立環境研究所			J. 地方自治体		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	16	旅費	検討会への参加	2
			消耗品費	薬品費、器材費	25
			賃金	調査補助員	8
			その他	製本費、光熱費等	4
計		16	計		39

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

### A.(株)アシストマイクロ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アシストマイクロ	毒性試験成績のデータベース化	1	4	31.9

### B.(独)国立環境研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	水産動植物登録保留基準に係る文献収集	9	1	96.9

### C.(株)ボゾリサーチセンター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ボゾリサーチセンター	第1期非食用農薬の安全性評価資料原案の作成	1	2	33.8
2	(株)ボゾリサーチセンター	第2期非食用農薬の安全性評価資料原案の作成	1	2	73.2

### D.(株)エスコ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エスコ	河川における魚体中農薬モニタリング調査	10	2	92.4

### E.(独)国立環境研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	農薬による水生生物への影響実態調査	16	1	93.6

### F.(株)サンコー環境調査センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サンコー環境調査センター	ゴルフ場排水中の農薬分析	3	3	83.4

### G.(独)農業環境技術研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)農業環境技術研究所	農薬の飛散動態調査	5	1	98.5

### H.(財)残留農薬研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)残留農薬研究所	地方自治体担当者に対する分析研修実施	2	1	84.0

### I. いであ(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	水質・土壌等農薬残留調査のとりまとめ	49	2	99.0